

海蔵地区都市計画マスタープラン

海蔵地区都市マス委員会(※)は、現在、市が策定した海蔵地区都市計画マスタープランの諸課題の中の3つの課題について整備検討部会を設置して市や県と協議を進めています。

西阿倉川変則交差点改良整備検討部会

交通渋滞解消と海蔵小学校児童の通学の安全確保等の観点から、変則交差点の改良整備について検討を進めてきました。

十字交差点への整備は、山手中学校から南進する道路の下にある下水道管が、堀川架橋の橋台位置に開口すること、また農業用の施設も同位置にあることから、その整備は困難となりました。

現在は、同道路を交差点の約100m手前から少し西側へ曲げて斜交交差点を整備し、野田方面から来る道路に合流させる計画です。これに伴い、野田方面から来る道路のT字交差点も見直されます。



三滝川分派・関連河川整備検討部会

県の暫定河川改修事業により、昭和20年代から50年代にかけて、三滝川の増水時に海蔵川へ流すための分派(三滝新川)が暫定的に整備され、それに対応しての海蔵川下流部の整備が行われました。

そして現在、「三滝川ふるさとの川整備事業」が進められており、三滝川河川敷等の整備後に分派内の水路も再整備されます。

一方、海蔵川へ流入する堀川は、海蔵川の水位が高くなった時には逆流防止のために水門が閉鎖されることから、分派内の再整備に対応した堀川の治水対策実現に向けて協議しています。



阿倉川駅・駅前整備検討部会

近鉄阿倉川駅は地下通路や狭い駅前スペースなど、安全性や利便性の課題があります。

地下通路の課題については、昨年度から工事が始まりエレベーターやスロープ、多目的トイレの設置など、駅を全体的にバリアフリー化する工事が本年度3月末までの工期で、進められています。

駅前の道路も、本年5月までに再舗装整備される予定です。

送迎車両の出入りと、徒歩の駅利用者が行き交う駅前スペースの安全性確保の課題については、満車状態の駐輪場の整備と合わせて協議しています。



※海蔵地区都市マス委員会：海蔵地区都市計画マスタープラン・まちづくり構想推進委員会の略称